

# 節目の70代に就任

新議長



1933年(昭和8)年に市制誕生から84年、第70代という節目の議長になった。

「来年は中核市へ移行、新市立高校開校、赤山歴史自然公園と市営火葬施設の開業、新庁舎建設といった重要事業がある。川口は大きく変わることにしている節目の時。二元代表制の一翼を担う議会の役割の重さを感じる」と語る。

生まれはさいたま市浦和区東岸町。県立浦和商業高校から大手スー

川口市 若谷正巳氏

パー、ゼネコンに11年勤務。川口選出の衆院議員新藤義孝氏の選挙運動を手伝ったのが縁で、96年の新藤氏初当選と同時に公設秘書に。2002年から同氏の政策担当秘書を務め、07年に川口市議に初当選して現在3期目。

現場主義が信条。長男が通った小中学校でPTA会長を歴任。「最近のいじめ事件では教師が子どもに向き合っていないと感じる。学校も保護者も子ども一人一人に向き合ってほしい」

趣味は毎日、早朝の10キロマラソン。その日の行動を考えながら走る。議長になった記念に市のマスコット「キュポラン」の名刺を作った。「川口をもっと宣伝したいから」と話した。

(岸鉄夫)

インターネットで **わかやまさみ** と検索してみてください

ウェブサイトでは私の政策や主張を、ブログでは日々の活動や感じたことを掲載しています。ぜひ一度ご覧になって下さい。

〒333-0861 川口市柳崎1-10-6  
TEL.048-264-3200 FAX.048-261-1060  
E-mail [wakaya@nikowaka.jp](mailto:wakaya@nikowaka.jp)  
URL <http://www.nikowaka.jp>

市民相談、電話・メール・FAXにて受付中

自民党 わかやまさみ 川口市議会議員 若谷正巳 2018年 Vol.27

ニコワカ市政REPORT



## 第70代川口市議会議長に就任しました



皆様の長年に渡ってのご支援により、川口市議会9月定例会において、議長に就任させていただきました。

昭和8年6月1日に、永瀬寅吉先生が、初代議長に就任して以来、84年の時を経て、第70代という区切りの時期に議長を務めさせていただくこととなりました。

この84年という長い歴史の中で培われた川口市議会の良き伝統をしっかりと継承しつつ、時代の変化や、多様化する市民ニーズに着実に応えていくため、職務に全力を尽くして参る所存でございます。

さて、「中核市への移行」をはじめ「新市立高校の開校」「赤山歴史自然公園イイナパーク川口の一部開園」「火葬施設めぐりの森の開設」「新庁舎建設」など、今年は本市にとって重要な事業が控えております。まさに川口が大きく変わろうとしている節目の時であります。

そのようななか、二元代表制の一翼を担う議会として、行政に対するチェック機能の更なる向上、及び、市民の福祉増進のため、また、市民の生命、財産を守るため、本市の地域特性を踏まえた政策提言や議会改革、議会としての危機管理の充実・向上に皆様と共に取り組んで参りたいと存じます。

さらに、地方自治法をはじめ川口市議会会議規則等に照らし合わせ、法令順守を基に総合的判断のもと進めて参る所存です。

今後とも60万市民目線に合わせるべく「市民との対話」を基本に活動してまいりますので、ご意見ご要望等ございましたら遠慮なく申し付けくださいませ。

# 中核市移行を契機に実施する新規拡充事業

## 1. おたふくかぜワクチン（平成30年度新規事業）

1回分・3,000円を助成（対象：1歳～未就学児）

自己負担額：医療機関が設定する接種料金から3千円を引いた額  
助成金額：3,000円

## 2. 県外医療機関での予防接種費用助成（平成30年度新規事業）

里帰り出産等により県外医療機関での法定予防接種費用を助成

助成金額：75,000円程度  
4ヶ月未満のうち、接種可能なワクチン（ヒブ感染症予防接種、小児肺炎球菌感染症予防接種、B型肝炎予防接種、四種混合予防接種）を里帰り先で接種した場合

## 3. 特定不妊治療

現行の特定不妊治療費助成に川口独自の上乗せ最大18万円（3万円×6回）を助成

- ① 川口市単独事業（平成30年度新規事業）  
妻の年齢が初回40歳未満6回まで、40歳以上3回まで43歳になるまで1回3万円助成。
- ② 県からの移譲事務（平成30年度新規事業）  
特定不妊治療費助成事業  
妻の年齢が初回40歳未満6回まで、40歳以上3回まで43歳になるまで1回15万円助成
- ③ 県補助事業（ウエルカムベイビープロジェクト）  
（平成29年度11月より実施）  
・早期不妊検査費助成事業 助成金額：20,000円  
妻の年齢43歳未満。1回のみ2万円。

- ・2人目以降特定不妊治療費助成（平成30年度新規事業）  
助成金額：150,000円  
1人目以降を出生以後に始めて助成を受けようとする治療開始の妻の年齢が初回40歳未満6回まで、40歳以上3回まで43歳になるまで1回15万円助成。
- ・早期不妊治療費助成事業（平成30年度新規事業）  
助成金額：100,000円  
初回治療時の妻年齢35未満の方、初回のみ1回10万円。

## 4. 口腔がん検診

自己負担800円で年1回検診を受けられるよう費用を助成（対象：30歳以上）

口腔がん 自己負担額：800円 助成金額：3,520円  
（平成30年度新規事業）

歯科健診 自己負担額：500円 助成金額：5,980円

歯科健診+ドック 自己負担額：2,000円\* 助成金額：2,820円  
\*うちドックの自己負担額は1,500円

## 5. 胃がん検診（胃内視鏡検査）

自己負担2,000円で2年に1回検診を受けられるよう費用を助成（対象：50歳以上）

内視鏡検査（個別検診）（平成30年度新規事業）  
自己負担額：2,000円 助成金額：19,789円

エックス線検査（集団検診）  
自己負担額：510円 助成金額：5,710円

## 6. 肝炎ウイルス検査

自己負担額無料に加え、対象年齢を拡充（対象：20歳以上未受診者1回のみ）